

**TDB**

価値ある未来へ。

企業価値評価サービス

**Value Express**  
バリューエクスプレス

<https://tdb.qri.jp/top.html>



# 企業価値とは？

「企業価値」とは「企業の価格」であり、企業活動で生み出す経済的な価値を金額で表したものです。

## 企業価値評価サービス

### Value Express —バリューエクスプレス— とは？

帝国データバンク (TDB) “企業財務データベースCOSMOS1” に収録されている決算書データを基に、DCF (ディスカウントキャッシュフロー) 法\* を使用して企業価値を評価しているサービスです。

インターネット上で簡単に利用できるValue Expressには、大きく分けて二つのサービスがあります。

- シミュレーションサービス: 指定企業の企業価値評価に関する各種分析 (全6画面) やシミュレーション
- 条件検索サービス: 各種項目をキーにした条件検索による企業データ抽出

\*DCF法については中面「コラム」をご覧ください。

**いつでも  
スピーディーに  
確認できる!**

約21万社の企業価値が、  
インターネットで24時間  
いつでも簡単にチェックできます

**未公開企業の  
企業価値も  
算出できる!**

TDBの情報収集力により、  
一般的には知ることのできない  
未公開企業の企業価値も分かります

企業価値評価サービス

**Value Express**  
バリューエクスプレス

帝国データバンク  
企業財務  
データベース

**経営計画の  
方向性を  
明確にできる!**

将来の売上高や売上原価率など各種数値を  
自由に設定し、様々なシミュレーションが可能なので  
経営計画の策定に役立ちます

**キャッシュフロー(価値)  
向上のポイントが  
把握できる!**

さまざまな項目の業界平均値を算出し、  
業界内のランクやコメントを表示、  
キャッシュフロー(価値)向上のポイントが把握できます

すぐに価値を算出

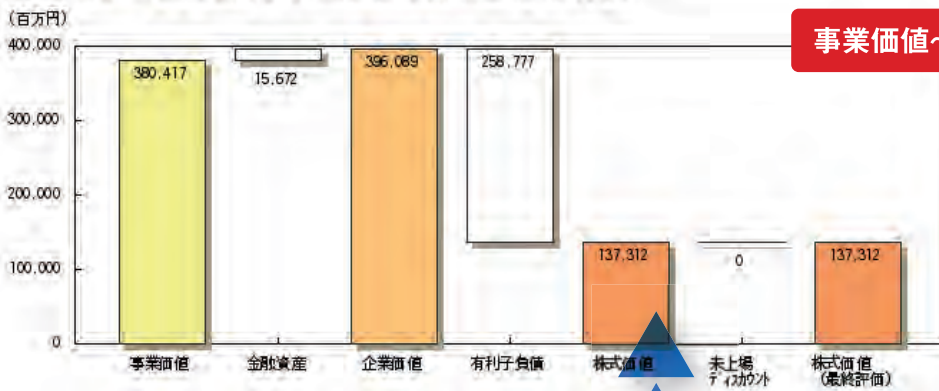
企業価値評価結果

企業価値評価結果		
事業価値		380,417(百万円)
金融資産	(+項目)	15,672(百万円)
企業価値		396,089(百万円)
有利子負債	(-項目)	258,777(百万円)
株式価値		137,312(百万円)
株式価値<最終評価>		137,312(百万円)

事業価値 : 事業が生み出すキャッシュフローの現在価値合計  
 金融資産 : 事業に使われていない有価証券、投資有価証券や一部の現預金  
 企業価値 : 事業価値に金融資産を加算したものと(株式価値に有利子負債を加算したもの)  
 有利子負債 : 借入金や社債等、株主以外の資金の出し手に還元される価値  
 株式価値 : 企業価値から有利子負債を減額したもので株主に還元される価値

Point

事業価値、企業価値、株式価値がボタンひとつで、すぐに、簡単に算出されます。



事業価値～株式価値をチェック

過去の業績や、将来の予測業績を設定可能

シミュレーションの設定

1-1 率設定(将来予測設定)	売上増伸率	売上原価率	売上総利益率	売上高営業利益率	売上高純利益率
自社実績	5.0%	60.1%	32.2%	4.9%	-3.7%
自社過去平均(過去5年以内)	5.0%	60.0%	34.0%	3.0%	1.0%
業界平均(過去5年以内)	7.0%	70.0%	24.0%	0.0%	0.0%

Point

売上伸び率や売上原価率等の各種指標の比率を変更し、将来業績を設定することはもちろん、金額の入力も可能。また過去の業績も修正可能で、様々なシミュレーションが可能です。

将来予測の率設定	売上増伸率	売上原価率	売上総利益率	売上高営業利益率	設定値
自社過去平均					
自社過去平均					
業界平均					

1-2. 金額設定(決算書変更と将来予測設定)

金額設定項目: 売上高(将来予測)、有利子負債、総資産

2. 比較対象業種変更

3. 割引率

4. 永続成長率

5. 実効税率の変更

比率設定だけでなく、金額入力による将来業績を設定することが可能。(過去の業績の修正も可能)

項目名	2003/12	2004/12	2005/12	2006/12	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
(1) 売上高	710,433	743,672	783,575						
(2) 売上原価	439,273	436,987	471,039						
(3) 売上総利益 (1)-(2)		296,429	298,600	262,584					
(4) 売上総利益に一般管理費									
(5) 営業外収益 (3)-(4)		2,745	3,934	3,024					
(6) 営業外費用									
(7) 営業外費用		3,294	3,915	5,000					
(8) 経常利益 (5)-(6)-(7)		3,294	3,915	5,000					
(9) 実効利率									
(10) 受取利息		2,469	2,469	2,469					
(11) EBIT (8)+(10)		2,837	3,687	4,467					
(12) 減価償却費									
(13) EBITDA (11)+(12)									
(14) 税金 (13)×40.0%									
(15) NOPAT (13)-(14)									
(16) 運転資本増加額			-21,026	65,542					
(17) 価値合計	2,837	24,627	-3,666						
(18) フリーキャッシュフロー (17)-(16)									
(19) 金融資産		15,672							
(20) 有利子負債		117,420							

チェックポイントに基づいてシミュレーションを実施



# 算出された価値や将来FCFの分析結果、コメントを表示

## 企業価値分析1

価値分析：事業価値 ～ 企業価値 ～ 株主価値の算出過程の分析

項目名	目標	当企業の実績	業界内ランク	業界平均値
(1) 事業価値/過去最終期売上高×100%	T	43.04%	B	23.00%
(2) 全動産価値/過去最終期売上高×100%	T	8.87%	C	3.110%
(3) 企業価値/過去最終期売上高×100%	T	40.91%	B	40.10%
(4) 有利子負債/過去最終期売上高×100%	L	51.65%	D	45.00%
(5) 株式価値/過去最終期売上高×100%	T	1.20%	C	-12.15%
(6) VERA(株式価値/過去最終期当期利益)	T	0.30	E	20.62
(7) VERA(株式価値/過去最終期純資産)	T	0.18	E	1.72
(8) 企業価値/過去最終期EBITDA倍率(倍)	T	8.34	D	11.74
(9) 有利子負債/過去最終期EBITDA倍率(倍)	L	8.18	C	12.01

将来予測：売上高 ～ フリーキャッシュフロー算出過程の分析

項目名	目標	当企業予測1年値		当企業予測5年値		過去業界平均値
		比率(設定数値)	業界内ランク	比率(設定数値)	業界内ランク	
(10) 売上高伸び率%	T	1.40%	C	1.20%	D	1.65%
(11) 売上高原価率%	L	55.60%	A	58.15%	A	73.55%
(12) 売上高販管費率%	L	30.25%	E	30.24%	E	24.50%
(13) 売上高営業利益率%	T	6.15%	A	3.63%	E	1.87%
(14) 売上高経常利益率%	T	6.94%	A	3.42%	K	1.96%
(15) 売上高運転資本増加率%	L	9.30%	D	1.62%	D	0.02%
(16) 売上高設備投資率%	L	0.59%	B	0.58%	B	2.68%
(17) 売上高FCF比率%	T	1.30%	C	0.62%	E	1.71%

※ 業界内ランクは、業界内上位から社数200以内A-Eの6段階のランク付しており、同列にお天気マーク(A:快晴、B:晴れ、C:曇り時々晴れ、D:曇り、E:雨)で評価しています。

分析結果：チェックポイント

企業価値分析は、将来のフリーキャッシュフロー予測とそれに伴って算出された価値の分析です。まず価値分析の事業価値を見てみます。当社の事業価値の業界内ランクはBですが、事業価値はフリーキャッシュフローの合計で、事業予測するフリーキャッシュフローを定めます。少額減価償却資産、特許価値ですが、企業価値のアップは良好ですが、有利子負債のランクは悪いです。有利子負債が過剰で株式価値を毀損している可能性があります。有利子負債の削減は、企業価値や事業価値の向上に必要となります。また、株式価値アップは業界内ランクも悪化しますが(株式価値の業界内ランクが悪化が原因)の可能性が低いです。VERAも悪化しています。つまり株式価値が純資産を下回っており出資者の価値を生まれていません。売上高純利益率の業界内ランクは悪化が原因ですが、VERAを上回るように株式価値を向上させる必要があります。

次に事業価値の源泉であるフリーキャッシュフロー(売上高フリーキャッシュフロー比率)を見てみると、売上高フリーキャッシュフローが少く、マイナス値または業界内ランクが低い率値がわかります。フリーキャッシュフローが少なく、事業価値が低下し、資金調達リスクによっては資金上の注意も必要となります。

フリーキャッシュフローを向上させるため、その構成要素を見てみます。予測期間最大コスト削減を見直しコスト削減を実施して、フリーキャッシュフローを向上させる/業界内ランクを低くする必要があります。

売上高運転資本増加率のランクが良く、運転資本を改善させる。つまり売上高増や在庫削減によってフリーキャッシュフローを向上させる必要のある年度があります。運転資本削減は一般科目は売上高と運転資本の合計から入算額を控除したもので、運転資本を削減して、KPIに必要とします。運転資本の増加はフリーキャッシュフロー不足の原因となることあり、運転資本増加分を減らすのが必要です。削減は削減でチェックする必要があります。

売上高設備投資率の削減は、設備投資計画に基づいて、設備投資計画を削減する必要があります。

### Point

予測される将来の業績を基にした企業価値算出までの各種財務指標の業界内ランキングや、分析コメントを表示し、企業価値向上のポイントが簡単にわかります。

項目ごとの業界内ランクを表示。  
分析コメントにより、  
財務上の課題の把握が可能。

価値向上のポイントをチェック

# 各項目の変動に対する価値の変動度合いを算出

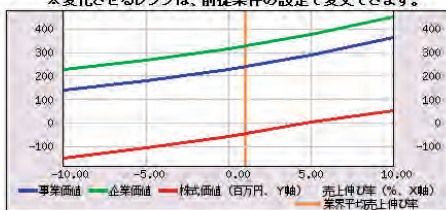
## 影響度分析

<影響度分析>

売上伸び率を上下10%変化させた場合の評価結果

	売上伸び率増減(%)	事業価値(千円)	企業価値(千円)	株式価値(千円)
GOOD→	10.00	363,498	450,852	53,305
	5.00	290,115	377,479	1,944
評価に採用した数値	0.00	229,309	316,673	-88,029
	-5.00	179,989	266,753	-107,949
BAD→	-10.00	138,882	226,196	-148,506

※変化させるレンジは、前提条件の設定で変更できます。

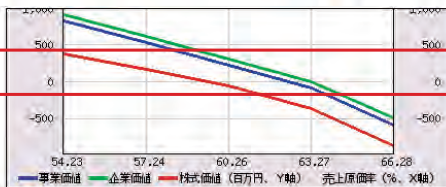


### Point

売上伸び率や売上原価率等の各項目の改善効果を比較し、改善の優先順位や目標数値の検討が可能です。

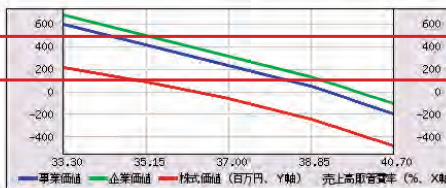
売上原価を上下10%変化させた場合の評価結果(%、千円)

	売上原価増減(%)	売上原価率	事業価値	企業価値	株式価値
GOOD→	-10.00	54.23	824,654	912,018	376,129
	-5.00	57.25	526,989	614,353	167,756
評価に採用した数値	0.00	60.26	229,309	316,673	-88,029
	5.00	63.27	-80,154	7,210	-367,492
BAD→	10.00	66.28	-577,006	-489,642	-864,344



販管費を上下10%変化させた場合の評価結果(%、千円)

	販管費増減(%)	販管費率	事業価値	企業価値	株式価値
GOOD→	-10.00	33.30	594,867	682,231	215,270
	-5.00	36.15	412,096	499,460	87,330
評価に採用した数値	0.00	37.00	229,309	316,673	-88,029
	5.00	38.85	46,422	133,786	-240,916
BAD→	10.00	40.70	-193,452	-106,088	-480,790



各比率の変動による価値の変動度合いを表示。  
各比率同士を比較し、価値向上の効率性を把握。



# 過去の業績の分析結果、コメントを表示

## 企業価値分析2

過去実績：売上高フリーキャッシュフロー算出過程の分析

項目名	目標	当企業 2007/03	当企業 2008/03	当企業 2009/03	当企業 過去平均値	当企業過去平均の 業界内ランク	過去 業界平均値
(10) 売上高増率(%)	↑	1.46%	0.70%	1.05%	1.00%	C	3.64%
(11) 売上増率(%)	↓	86.66%	84.74%	76.61%	82.65%	D	72.53%
(12) 売上増率(%)	↓	10.38%	11.05%	10.55%	10.55%	A	26.25%
(13) 売上高営業利益率(%)	↑	2.97%	-4.21%	13.14%	6.77%	A	-11.79%
1) 売上高営業利益率(%)	↓	0.12%	0.14%	0.15%	0.12%	C	0.44%
2) インベストメント/レバレッジ(倍)	↑	29.92	35.07	31.59	32.11	A	15.35
(14) 売上高営業利益率(%)	↑	3.57%	-4.53%	13.34%	7.17%	A	-1.27%
(15) 売上高経常利益率(%)	↓	0.85%					0.43%
1) 売上高経常利益率(月)	↓	3.21					2.04
2) 経常利益増率(月)	↑	0.17					0.07
3) 買入価格増率(月)	↑	2.96	2.92	2.50	2.79	A	1.30
(16) 売上高経常利益率(%)	↓	0.46%	0.35%	0.25%	0.36%	D	1.00%
1) 固定資産増率(月)	↓	4.40	4.30	8.46	4.05	E	2.51
(17) 売上高フリーキャッシュフロー比率(%)	↑	1.63%	3.85%	7.76%	4.41%	A	0.55%

現状の問題点をチェック

### Point

過去の業績を基にした各種財務指標の業界内ランキングや、分析結果のコメントを表示し、現状の財務上の課題が簡単に分かります。

過去実績：その他分析

項目名	目標	当企業 2007/03	当企業 2008/03	当企業 2009/03	当企業 過去平均値	当企業過去平均の 業界内ランク	過去 業界平均値
(18) 自己資本比率(%)	↑	42.91%	44.20%	38.82%	41.97%	B	26.05%
(19) 固定比率(%)	↓	130.21%	119.31%	137.85%	125.82%	D	239.34%
(20) 固定長期適合比率(%)	↓	94.90%	96.27%	90.03%	96.67%	E	70.61%
(21) テックエイティブレシオ(倍)	↓	0.31	0.30	0.56	0.39	B	3.98
(22) 手元流動性比率(倍)	↑	0.23	0.29	0.22	0.25	E	1.65

\* 業界内ランクは、業界内上位から社数20%以内(A)・30%以内(B)・40%以内(C)・50%以内(D)・50%以上(E)に区分しています。

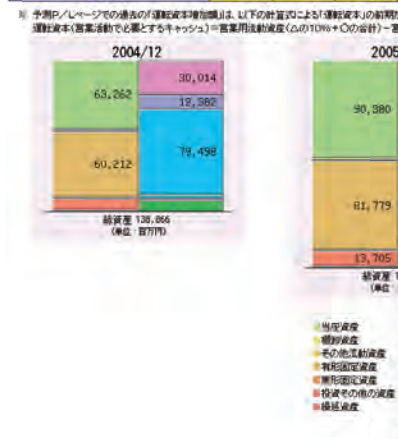
分析結果・チェックポイント  
企業価値分析は、過去の業績値に基づいた分析です。まず売上高フリーキャッシュフロー算出過程の分析をみると、当社の売上高フリーキャッシュフロー比率の業界内ランクは非常に高く、売上高に対するフリーキャッシュフロー比率が高いことが分かります。  
フリーキャッシュフローの算出過程の指標をみると、売上高増率のランクは良くありません。売上増率が悪化傾向にあるように、引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。  
売上高経常利益率の業界内ランクが低くなっています。売上高増率も増減が少なく、引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。  
固定資産増率の業界内ランクが低くなっています。固定資産増率も増減が少なく、引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。  
手元流動性比率の業界内ランクが低くなっています。手元流動性比率も増減が少なく、引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。引当仕入先や仕入方法の見直しなど原価を低減すべきです。

# FCF算出までの予測PLと過去の要約BSを表示

## 予測PL、要約貸借対照表

<要約貸借対照表>

科目	資産の部			負債・純資産(資本)の部		
	2004/12	2005/12	2006/12	2004/12	2005/12	2006/12
流動資産	65,824	62,949	166,261	流動負債	44,664	62,506
現金当座	65,252	64,581	165,259	支払手形(○)	1,254	1,254
預金(△)	17,247	40,109	32,883	買掛金(○)	30,614	42,437
貸倒手形(○)	7,833	15,887	64,721	短期借入金	1,234	4,869
売掛金(○)	30,212	94,560	60,415	その他(△/支払金・短期借入金等)(○)	12,962	34,780
その他	0	0	0			
繰前資産(○)	1,234	1,800	4,645	固定負債	62,680	62,506
その他流動資産(○)	1,234	769	-214	社債・長期借入金	76,498	79,222
				その他	3,182	2,189
固定資産	71,808	96,757	91,965	引当金	1,234	1,234
有形固定資産	63,212	81,779	78,442			
建物	29,859	27,841	26,323			
設備	17,419	40,604	33,065			
土地	13,234	13,234	13,234			
無形固定資産	1,234	1,234	1,234	貸入金・資本剰余金	12,468	12,468
投資その他の資産	10,323	13,706	17,265	利益剰余金・その他	-2,380	11,396
				(うち当期純利益)	-6,749	13,774
繰延資産	1,234	1,234	1,234	純資産(資本)計	10,098	20,963
資産合計	136,967	160,941	261,464			



<事業価値の計算過程> (決算書3期利用)

項目名	2004/12	2005/12	2006/12	過去平均	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後	永続価値	
(1) 売上高	710,433	742,672	783,576	745,560	795,243	801,254	811,125	832,222	841,234	-	
(2) 売上原価	439,213	436,967	471,036	449,079	479,205	492,928	488,776	601,469	606,919	-	
(3) 売上総利益(1)-(2)	271,220	305,685	312,539	296,481	316,038	318,426	322,349	330,753	334,315	-	
(4) 販売費および一般管理費	266,429	253,620	282,584	257,944	294,240	296,464	300,116	307,922	311,257	-	
(5) 営業利益(3)-(4)	4,790	52,063	29,955	38,537	21,798	21,962	22,233	22,811	23,058	-	
(6) 営業外収益	2,748	8,934	3,294	3,325	3,294	3,294	3,294	3,294	3,294	-	
(7) 営業外費用	3,294	3,915	5,020	4,076	5,020	5,020	5,020	5,020	5,020	-	
(8) 経常利益(5)+(6)-(7)	4,245	52,082	28,229	38,184	20,072	20,236	20,507	21,085	21,332	-	
(9) 支払利息	3,294	3,915	5,020	4,076	5,020	5,020	5,020	5,020	5,020	-	
(10) 受取利息	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	2,469	-	
(11) EBIT(8)+(9)-(10)	5,071	53,636	60,765	39,788	22,611	22,775	23,046	23,624	23,871	-	
(12) 減価償却費	2,637	3,060	4,681	3,459	4,689	4,689	4,709	4,730	4,738	-	
(13) EBITDA(11)+(12)	7,708	56,598	65,446	43,247	27,300	27,474	27,755	28,354	28,609	-	
(14) 税金(11)×40%	2,028	21,411	24,306	15,915	9,044	9,110	9,218	9,450	9,548	-	
(15) NOPAT(13)-(14)	5,680	35,177	41,140	27,332	18,259	18,364	18,536	18,904	19,061	-	
(16) 運転資本増加額			-27,026	19,258	18,789	15,145	11,459	7,865	3,975	-	
(17) 設備投資			24,627		13,632	4,699	4,709	4,730	4,738	-	
(18) フリーキャッシュフロー(FCF) (15)-(16)-(17)			37,576	-20,747	8,414	-5,223	-1,480	2,329	6,309	10,348	-
(19) FCFディスカウント(%)					0.20	0.43	0.69	0.97	1.27	-	
(20) 期待フリーキャッシュフロー (18)×(100%-(19))					-5,223	-1,480	2,313	6,248	10,216	278,811	
(21) 純資産(株主価値)率(4.82%)					1,0482	1,0986	1,1516	1,2070	1,2651	1,2651	
(22) 正味現在価値 (20)×(21)					-4,983	-1,347	2,008	5,177	8,075	220,978	

### Point

フリーキャッシュフロー算出までを表示した予測PLと過去のBSにより、財務内容が分かります。

PLとBSをチェック



## 便利な機能やサービス

### 1 評価結果が分かりやすい分析コメントを表示

\* 企業価値評価およびフリーキャッシュフローの算出過程の分析結果をコメントで表示し、どこを改善すれば企業価値(フリーキャッシュフロー)が向上するかを分かりやすくしています。

### 2 TDBオリジナルリスク指標を反映

\* TDBが保有する膨大な財務データからTDBオリジナルリスク指標を統計的に算出し、評価結果に反映させています。

### 3 『シミュレーションサービス』は同一企業であれば、3か月間は何度でもシミュレーションが可能

例：Value Express ベーシックで7月7日にS社を初めてシミュレーションしたのであれば、10月6日までS社のシミュレーションが可能です。

\* サービスにより起算日が異なります。

### 4 『シミュレーションサービス』の各画面はPDFファイルで、『条件検索サービス』の各画面はCSVファイルで保存可能

### 5 「ブックマークボタン」で気になる企業の登録が可能

\* 登録した企業の新しい期の決算書が収録されると、メールで案内を受けることができます。

### 6 COSMOS1非登録の決算書の企業も評価可能

\* 企業財務データベースCOSMOS1に非登録の決算書の企業が評価対象でも、決算書をご提供いただければ貴社のみValue Expressの評価結果の閲覧や、シミュレーションのご利用が可能なサービスもご用意しています。  
\* 本サービス(Value Express ベーシックリミテッド、同プラスリミテッド)をご希望の場合は、別途弊社担当者までご連絡ください。公式サイトでのお申し込みはできません。

## コラム DCF法とは

企業価値評価方法には様々なものがありますが、他の評価方法が基本的に過去の数値から価値を算出するのに対して、DCF法は将来の収益(将来のフリーキャッシュフロー)から価値を算出していることが特徴です。ひとつの例で、資産価値で評価する方法と、DCF法で評価する方法の違いを見てみましょう。

例えば10億円で買った機械を持っていて、その機械は1か月に1億円のキャッシュを生み出し、商品はすぐに完売、機械の維持費もほとんどかからないとします。この機械をもし誰かに売る場合、いくらで売るか計算してみます。

### 資産価値で評価する場合

資産価値で計算する場合は、10億円(計算単純化のため減価償却などの他条件は考慮しないこととします)になります。

### DCF法で評価する場合

DCF法で計算する場合は、どうなるでしょうか?DCF法は生み出される収益に着目した方法なので、この機械が故障するまでに稼げるキャッシュを計算します。例えば3年間使用できるとすると、「1億円×36ヵ月=36億円」(計算単純化のため他条件は考慮しないこととします)になります。

このように「資産価値」と「将来の収益」は基本的に関係なく、大きく乖離することもあり、注意が必要です。どちらが良い悪いということはありませんが、今後も企業(資産)が継続していくケースではDCF法、継続はしない(企業を清算など)ケースでは資産価値で評価するのが一般的です。なお、税法上の理由から、DCF法は相続税算出のケースでの評価には適しません。



# キャッシュフローは充分ですか？

## 気になりませんか？ 自分の会社の価値、あの会社の価値

会社の価値にもっと敏感になることが重要です。これからのビジネスで成功を掴むために—

こんな時に「Value Express」をご活用ください。

### 課題

キャッシュフロー  
(価値)を  
向上させたい

売上・利益は堅調だが、資金繰りに頭を抱えるA社

キャッシュフローの管理、向上が必要だが、どこから手を付ければ良いか分からない

### 解決

『シミュレーションサービス』の各分析画面で、キャッシュフロー(価値)向上のためのポイントが分かる

株式を公開したい  
企業を売却したい

事業が軌道に乗り、数年後に株式公開を考えているB社  
後継者に当てががなく将来的には売却してでも存続させたいC社

自社がどれくらいの価格なのか知りたいが、これまで“価値”を意識したことはない

『シミュレーションサービス』なら、ボタンをクリックするだけで自社の価値算出ができる

グループ企業や  
出資先を管理したい

グループ企業や出資先を多く抱えている上場企業のD社

自社だけでなくグループ企業や出資先の企業の価値も把握する必要あり

『シミュレーションサービス』なら、ボタンをクリックするだけで他社(グループ企業や出資先)の価値を把握できる

未公開企業を  
買収したい

未公開企業R社を、またはピックアップした未公開企業を、買収したいE社

R社は未公開企業で決算書入手ができず、また他の候補先を探す方法もない

『シミュレーションサービス』で他社の価値を把握、また『条件検索サービス』で様々な条件で企業が検索できる

他にも様々な場面でご活用いただけます。



企業価値評価サービス Value Express -バリューエクスプレス- 商品仕様

商品名	ベーシック		プラス		企業価値評価リスト
		リミテッド		リミテッド	
	パッケージ*3				パッケージ*3
商品概要	シミュレーションサービス				条件検索サービス
	企業価値評価に関する各種分析(全6ページ) + シミュレーション機能				インターネット検索条件に 合致した企業のリストを抽出
評価対象 基本情報	TDB企業財務 データベース COSMOS1	COSMOS1 収録外 特別対応決算書	TDB企業財務 データベース COSMOS1	COSMOS1 収録外 特別対応決算書	TDB企業財務 データベース COSMOS1
提供媒体	インターネット		インターネット + デフォルト設定*1での各種分析画面 (全6ページ)のペーパー出力		インターネット
企業指定 / 検索キー	<企業指定キー> 漢字商号、 カナ商号、 企業コード、 証券コード	<企業指定キー> 登録コード	<企業指定キー> 商号、 企業コード	<企業指定キー> 登録コード	<検索キー> 所在地、主業、売上高、経常利益、資本金、従業員数、株式公開区分、事業価値、企業価値、株式価値、EV/EBITDA倍率、有利子負債/EBITDA倍率、デットエクイティレシオ、VER、VBR、売上高伸び率(最新期)、自己資本(純資産)比率ほか
提供情報 / 機能	①企業価値評価 企業価値評価結果や、全件・業界内での株式価値の分布が分かります。 ②企業価値分析1 将来のFCF算出過程や企業価値に関する各種項目の業界内ランクやコメントを確認できます。 ③企業価値分析2 過去のFCF算出過程や各種項目の業界内ランクやコメントを確認できます。 ④予測PL 将来の業績予測と事業価値の算出過程を確認できます。 ⑤要約貸借対照表 要約された過去のバランスシートを確認できます。 ⑥影響度分析 価値向上のための改善点と優先順位を確認できます。 及びシミュレーション機能(シナリオ設定)*2				企業コード、証券コード、商号、所在地、電話番号、決算年月、主業、売上高、経常利益、資本金、従業員数、事業価値、金融資産、企業価値、有利子負債、株式価値<最終評価>、VER、VBR、EV/EBITDA倍率、EV/売上高倍率、有利子負債/EBITDA倍率、デットエクイティレシオ、予測1年後の売上高伸び率、同売上原価率、同販管比率、同売上高運転資本増加額率、同売上高FCF比率

\*1：決算書が複数期収録されている企業は、特定の指標の数値が過去平均で将来推移すると仮定、決算書が1期分の場合は、業界平均値で推移すると仮定し、価値を算出したものです。

\*2：ValueExpressベーシックは、初回閲覧日から、同プラスはペーパー出力日から、同ベーシックリミテッドおよびプラスリミテッドは決算書データ登録完了日から3ヶ月間となります。

\*3：パッケージは複数社分の「利用枠」を一括購入することで1社あたりの価格が通常よりもお安く閲覧することができる商品です。有効期限は1年間となります。

●お申込みの際は弊社担当者までお問い合わせください。なお、ベーシックリミテッドおよびプラスリミテッドのお申し込みは、申込書記入のほか、決算書の添付が必要となります。

●料金は別紙料金表をご参照ください。

Value Express 公式サイト >>> <https://tdb.qri.jp/top.html>

●お申し込みの際には審査がございます。予めご了承ください。



<https://www.tdb.co.jp/>

お問い合わせは

企業価値評価サービス Value Express -バリューエクスプレス- に関するお問い合わせ先

最寄りの事業所・営業担当または、  
Value Expressヘルプデスク E-mail: ve@mail.tdb.co.jp

●本パンフレットの記載の仕様等は改良のため予告なしに変更することがあります。

●記載の会社名・商品名等は弊社の商標または登録商標です。

●個人情報の取り扱いについてはこちらをご覧ください。▶ <https://www.tdb.co.jp/privacy/>